

製品名: ダイナミン-2 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87704**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:98 kDa; Observed MW:98 kDa

抗原情報

遺伝子名	Dynamin-2
別名	DYN2; CMT2M; DYNII; LCCS5; CMTDI1; CMTDIB; DI-CMTB
遺伝子ID	1785, 13430, 25751
SwissProt ID	P50570, P39054, P39052
免疫原	ヒトダイナミン2の合成ペプチド

背景

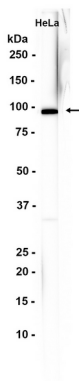
ダイナミンはGTP結合タンパク質のサブファミリーの一つです。これらのタンパク質は、GTPaseドメインを含む分子のN末端領域

において、高い配列相同性を有しています。ダイナミンは微小管と関連しており、エンドサイトーシスや細胞運動といった細胞プロセス、そして破骨細胞による骨吸収といった特定の活動に伴う膜変化に関与していることが示唆されています。ダイナミンは、アクチンやその他の細胞骨格タンパク質に結合する多くのタンパク質と結合します。また、ダイナミンは自己集合することができ、このプロセスは GTPase 活性を刺激します。異なるタンパク質をコードする 5 つの選択的スプライシング転写産物が報告されています。さらに選択的スプライシング転写産物が存在する可能性があります、その全長は未だ決定されていません。[RefSeq 提供、2010 年 6 月]

研究分野

-

画像データ



1:1000 の Dynamin-2 ウサギモノクローナル抗体を使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。